



しまなみ

尾道市立市民病院広報誌

第28号

発行日：平成26年10月

〒722-8503

尾道市新高山3丁目1170-177

tel: 0848-47-1155

fax: 0848-47-1004

<http://www.onomichi-hospital.jp/>

院内広報誌

第28号

尾道市立市民病院理念

尾道市立市民病院は、信頼される安全で質の高い医療を提供し、市民の皆さまの健康を守ります。



ごあいさつ

副院長兼地域医療連携部長 山脇 泰秀

尾道市医師会を始めとした近隣の医師会の先生方、JA尾道総合病院を始めとした近隣の病院の先生方には、平素より大変お世話になっております。心より感謝申し上げます。

さて我が国では、団塊の世代の我々が高齢者の仲間入りをするに至って、高齢化率が急速に進行して様々な問題を引き起こしています。特に国民医療費が40兆円余りと税金とほぼ同じ額まで増えてきていることは大問題です。

増え続ける医療費や介護費を抑制するには、日常生活を健康に過ごせる「健康寿命」を延ばすことが重要だとして、8月1日厚生労働省は、2014年版の厚生労働白書「健康長寿社会の実現に向けて」を公表しました。それによりますと2010年の平均寿命は男性が79.55年、女性が86.30年であり、健康寿命(日常生活に制限のない期間)は男性が70.42年、女性が73.62年と報告されています。平均寿命と健康寿命の差が日常生活に制限のある不健康な期間を意味すると思われませんが、男性で9.13年、女性で12.68年

となっています。

今後、平均寿命が延伸することは喜ばしいことですが、健康寿命との差が拡大すれば医療費や介護給付費の多くを消費する期間が増大することになってしまいます。健康増進、疾病予防、介護予防などによって、平均寿命と健康寿命の差を短縮できれば、社会保障費を軽減できるだけではなく、個人の生活の質(QOL)の低下を防ぐことができます。病院の健全経営は大前提ですが、公立病院で医療に携わる者としてできますことは、生活習慣病を予防するために特定健診(メタボ健診)の受診率を向上させる努力をすること、癌検診を積極的に行い早期発見・早期治療に努めることなどだと考えております。

尾道市立市民病院は地域の医療機関との連携を緊密にし、住民の生活の質を向上させるため、職員一丸となって努力いたします。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

市民公開講座を開催しました

9月23日(祝)、しまなみ交流館ホールにて、市民公開講座を開催いたしました。

今回は、「体にやさしいがん治療のお話し」というテーマで、消化器内科・外科・泌尿器科・放射線科の医師4名が、パワーポイントを用いながら、当院におけるがん治療の実際を説明し、「早期発見すれば、ほとんどのがんは治すことが可能である」とがん検診の重要性を訴えました。

参加した市民からは、「動画を使っでの説明で、手術の方法がわかり、たいへんよかった。」「尾道市民病院が最新のがん治療を行っていることがわかり感激した。」「検診に一步が踏み出せないでいたが、勇気が湧いた。」などの感想が寄せられました。

講師を務めた各医師の講演内容を、以下にダイジェストで掲載します。



「消化器早期癌に対する低侵襲内視鏡治療」

尾道市立市民病院 消化器内科 宮部 欽生

消化器領域は消化管をはじめ肝・胆・膵領域と多岐にわたります。肝臓領域ではB型肝炎、C型肝炎ウイルス治療が目覚ましい進歩を遂げ、肝炎に起因する肝臓がんは将来的に撲滅される可能性が期待されています。しかし消化管の癌罹患患者数は1位胃がん2位大腸がんと多く、がん死亡数も肺がんに次いで2位胃がん 3位大腸がんが占めています。特に2012年度統計では女性のがん死亡数の1位が大腸がんとなり今後の推移が注目されています。消化管がん

の発症リスクも年々具体化されています。

①飲酒喫煙習慣による食道がん発症、②食の欧米化による大腸がん患者の増加、③日本固有の塩分過剰摂取などの食習慣やヘリコバクターピロリ菌感染と胃がん発症との関連が指摘されています。がんになりやすい生活習慣を明らかにし、瀬戸内の平均寿命をより伸ばすことを目標に患者様の生活指導を行います。

一方消化管領域の早期がん治療においても21世紀に入り目覚ましく進歩をしています。早期がんに対する内視鏡治療において、スコープの改良や新しい手術道具の開発が行われ、消化器内視鏡医にも開腹することなく安全かつ確実ながん切除が可能となりました。

また健康保険の面でも2012年4月に大腸がんに対する内視鏡的粘膜下層切開剥離術(以下ESD)が先進医療から健康保険適応疾患となり患者負担も軽減されています。『おなかを切らない内視鏡治療』=低侵襲内視鏡治療は、超高齢者、心臓病や脳卒中後などの持病により全身麻酔下の開腹手術が困難なかたにも比較的安全に受けられるものです。当院でも昨年来約100名ほどの患者さんが内視鏡治療をされ、追加外科手術となった数人の患者さんを除き現在も元気に通院されています。早期に発見されれば100%に近い患者さんが助かるがんがありますが、どのようながんが『おなかを切らない内視鏡治療』で治るのか、またどうすれば治るがんが見つかるのかを明らかにします。当院で担当した早期がん症例の実際の治療内容を提示し、拡大内視鏡検査やESDなど最新の内視鏡診断治療を皆様にご理解をいただき安心できる治療の提供を行います。一人でも多くのがん患者さんを助けるべく、地域の拠点病院としてスタッフ一同、日々努力しているところですのでいつでも相談にいらしてください。



「からだにやさしいおなかの手術」

尾道市立市民病院 外科 村田 年弘

以前は男女とも胃がんが死亡する人の割合が多かったのですが、年々減少してきており、現在、死亡数が多い癌は男性では肺がん、胃がん、大腸がんの順で、女性では大腸がん、肺がん、胃がんの順です。

患者さんのかかる数が多い癌は男性では胃がん、肺がん、大腸がんの順で、女性では乳がん、大腸がん、胃がんの順です。

市民公開講座を開催しました

がんで死亡する確率は、男性では4人に1人、女性では6人に1人であり、がんに生涯でかかる確率は男女とも2人に1人です。

以前は、「がん」と診断されても家族に告知し、本人にははっきりと告知しませんでした。最近ではほとんどの場合、本人にがんの告知をします。その要因としては、医療技術の進歩とともにがんの治癒率が上がってきており、全部をあわせたがんの5年生存率は50%を超えてきています。また、患者さん本人がさまざまな治療法の中から選択をするという時代の流れがあります。腹部の手術に関しましては、体の負担の少ない腹腔鏡手術が近年盛んにおこなわれてきています。

腹腔鏡手術とはカメラをお腹の中に入れて、モニターを見ながら手術を行っていくもので、カメラや手術機械を入れるための1cm程度の穴を数か所開けて、臓器を取り出したり細かな操作をするための3-10cm程度の切開を加える小さな傷口で手術を行っていくものです。術後の痛みが少なく、回復が早く、腸閉塞が少ないなどの利点がありますが、手術時間が長くなり、カメラで見えない部位での出血や損傷、触覚がないため特殊な技術が必要となるなどの欠点もあります。胃がん、大腸がん、肝臓がんなどの手術の一部は腹腔鏡を用いて行っており、当院では腹部手術の約3割が腹腔鏡手術です。

がんは生死にかかわる病気なのだから手術の傷跡なんか言っていられない、痛くても仕方がない、という時代は終わりました。がんの手術であっても、腹腔鏡手術の利点と欠点をそれぞれの患者さんの病態や背景についてよく検討したうえで適応があれば積極的に導入しています。



「体にやさしい泌尿器科治療のお話」

尾道市立市民病院 泌尿器科 別宮謙介

みなさんがもし、がんと診断された時、どうのことを想像しますか？手術のような痛くてつらいことをしないとイケないんじゃないかと思う方もおられるのではないのでしょうか。近年の医療の進歩は目覚ましく、がんの治療方法も変わってきています。切らなくても(手術じゃなくても)治療(がんが治る)が期待できる方法も登場してきていますが、それでも中には手術をした方がいいがん、手術をしないと治らないがんも残念ながら現時点では多く存在しています。

手術というと、お腹を大きく切って、たくさんのチューブにつながれ当分動くこともできず、長い間入院しないといけないと思いませんか？もちろんがんの進行の程度や手術の種類によっては大きなきずがつき、長い入院が必要なこともあります。ただ手術の方法も進歩しており、最近はずの小さい手術法である腹腔鏡(ふくくうきょう)手術が普及し、標準治療になってきています。方法は、まず小さなあなを数か所あけて炭酸ガス(体に安全なガス)でお腹を膨らまします。1か所のあなからカメラを入れて、テレビ画面に体の中の様子を映しながら、残りのあなから手術の道具を入れ、手の替わりをしながら手術を行います。この方法ではきずは小さくて済む(大きくても数cm程度)ため痛みが少なくすぐに動くことができ、回復が早く入院期間も短くて済みます。きずが目立たないため美容面でも優れています。またカメラの拡大された映像を見ることによって肉眼で見るより体の中の様子がより詳しく分かり、安全かつ確実な手術の操作が可能になるなど、多くのメリットがある手術です。特に泌尿器科で取り扱う臓器の場合、腎ぞうや尿管などがあるお腹の裏側(後腹膜といいます)や、ぼうこうや前立せんなどがある骨盤の中といった体の奥深いところを手術する必要があるため、腹腔鏡手術を行うメリットは大きいです。

市民公開講座を開催しました



「放射線治療のお話」

岡山大学病院 放射線科 勝井邦彰

がんに対する治療の3本柱のうちの一つとして、放射線治療があります。放射線治療はがんを根本的に治すことと、がんによる症状を減らしたり予防することができます。臓器を残すことができ、外来治療も可能で、平日に毎日行い、数日から30日以上かけて行います。放射線治療をうけるのは、首周りのがん、肺がん、乳がん、前立腺がんの方が多く、増加の一途をたどっています。

放射線治療には、外照射と密封小線源治療、非密封線源治療があり、後2者は 特殊な治療で大学病院などに設置されています。外照射には、X線を用いるリニアック、サイバーナイフ、トモセラピー、ガンマ線を用いるガンマナイフ、粒子線を用いる粒子線治療装置があります。密封小線源治療ではセシウムを用いて舌がん、ヨードを用いて前立腺がんを治療し、非密封線源治療ではヨードを用いて甲状腺がんを治療しています。外照射では、患者さんへのご説明、固定具作成、CT撮影、設計図面の作成、治療直前の確認作業を経て治療が開始されます。機器がないと治療できませんが、機械だけで全自動で行われるわけではなく、手術と同様に多職種が関わっています。

機器の進歩に伴い画像誘導下放射線治療、強度変調放射線治療、粒子線治療の高精度放射線治療が行えるようになってきました。画像誘導下放射線治療では照射直前に位置補正をして正確に照射、強度変調放射線治療は当てたくない正常臓器を避けて照射する技術、粒子線治療は一定の深さでビームがストップする線質を活かして更に集中する技術です。

前立腺がんなど一部のがんではこれらの技術を用いて、年齢や合併症にて手術困難な方でも外照射によって今までより少ない副作用でがんを治すことが可能となっています。

副作用はある程度は出現しますし、手術や抗がん剤、ホルモン剤とともに行うことも増えてきました。各臓器担当の先生と協力し、多職種によるがん治療を行っています。当院では最新型のリニアックを用いて外照射を行い、小線源治療や粒子線治療など当院で行えない特殊な治療についても大学病院などに紹介が可能です。放射線治療だけではなく、CTやMRIなど放射線診断関連の機器も充実させ、医師・技師・看護師一丸となって高精度な画像診断に取り組んでおります。がんの疑いありと言われてましたらぜひ当院を受診いただければと存じます。

今回の市民公開講座には、例年の出張健診のほか、アトラクションとして、日比崎小学校合唱部が出演してくださり、子どもたちの澄んだ歌声がしばし会場を和ませてくれました。



出張健診



日比崎小学校合唱部によるアトラクション

看護部紹介シリーズ

新館2階病棟



48床

外科 肛門外科・血管外科・形成外科

消化器内科 歯科 耳鼻科

看護師 26名

外科系・消化器内科を中心とした回転率の高い病棟です。在院日数がますます短縮する中、安全で安心な環境で手術や内視鏡検査が受けられるよう日々取り組んでいます。

入院患者の多くが高齢者であり、入院をきっかけにADLや認知機能を落とさずに元の生活の場に戻る様に入院早期からの支援を実践しています。また、短期間の関わりですが、患者さんやご家族の意思を大切にしていきたいと考えております。



病棟でのケアカンファレンス



訪問看護師と連携

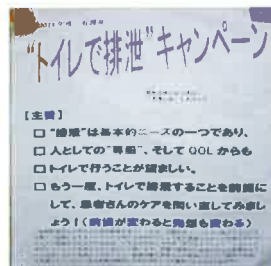


新館3階病棟



整形外科病棟 病床数48床 看護師25名

変形性関節症や脊柱管狭窄症など高齢化に伴う疾患が多く、毎日3~4件の手術が行われています。新3病棟では安全・安楽に周術期を経過するため全力で取り組んでいます。またトイレ排泄援助や早期離床を図ることでADLを落とさない支援につながっています。特にトイレ排泄援助は4年目を迎え、しっかり定着してきています。さらにパートナーシップナーシングシステムに取り組み1年半が経過しました。日々パートナーで補完しながら看護の質をあげ、在院日数の短縮や在宅復帰率向上を目標に頑張っています



病棟での取り組み



看護部紹介シリーズ

4階西病棟

内科20床・泌尿器科10床 整形外科10床 看護師数 25人

泌尿器科領域では、院内で一番多くのクリニカルパスを使用しています。H26年1月から電子カルテが新しくなり、紙パスから電子パスに移行し運用を始めた所です。クリニカルパスは、医療・看護の質を向上させるためのシステムです。泌尿器科の医師と看護師が協働し、患者さんが安心して入院生活が送れるよう努めています。

緊急入院する高齢患者さんは、病院という環境の変化に戸惑うことも多く、ご家族も不安な気持ちを持っておられると思います。看護スタッフ全員で関わりを持ち、「入院中安心でした」と言って頂けるよう細やかな看護ケアを日々心掛けています。



新人ナース
頑張ります！

4階東病棟



脳外科18床 循環器内科 17床 眼科2床 皮膚科3床

4東病棟はチームで取り組む再発予防をスローガンに、血管系疾患の治療、リハビリテーション、再発予防、社会復帰を視野に入れた患者さんの生活支援に力を入れています。医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリテーションスタッフ、地域連携スタッフによる多職種カンファレンスや地域連携パスの活用により患者さん及び家族の意向に沿った方向でサポート出来るよう心がけています

循環器カンファレンス



脳外科リハビリカンファレンス



2階病棟

産婦人科9床 小児科5床 歯科1床 内科15床 看護師21.5名

2病棟は、0歳から100歳を超える幅広い年齢層の患者さんの入院と複数科の患者さんの入院があり、その対応が求められています。そのため看護倫理の勉強会を毎年継続しており、2ヶ月に1回スペシャリストや他部門を交えて意見交換を行っています。そして、合理的に業務を遂行するため、パートナーシップナーシングシステムや申し送りの廃止にも積極的に取り組んでいます。

また入院生活の中で、せめて楽しみの1つにでもなればとスタッフは、七夕やクリスマス会を企画、実施するなど意気揚々と頑張っています。



2階病棟スタッフ



クリスマス会



意見交換会



フレイルーム



第27回厚友会文化祭開催・展示作品について(お知らせ・募集)

今年度も当院にて、文化祭を開催いたします。

文化祭は、病院職員のクラブ活動の成果発表や、患者さん・地域の皆様との交流のために行っているものです。お気軽にご来場下さいますようお願いいたします。また、開催に伴い文化祭に展示する作品を募集しますので、ぜひご応募下さい。

1.「日程・内容」

日時:平成26年11月10日(月)～11日(火)の15時まで

場所:尾道市民病院 新館4階 大会議室

内容:作品展示・お茶会・アロママッサージ等を予定

2.「作品展示物の募集」

文化祭開催につきまして、地域の皆様から文化祭へ展示する作品を募集します。

募集内容: 絵画・書・陶芸・手芸・写真・生花・その他など、ご自身で作成されたもの。

※壊れやすいもの・高価なもの等は管理しかねますのでご遠慮下さい。

募集期間: 11月6日(木)17時00分まで

【お問い合わせ・お申し込み】

尾道市立市民病院 医事課 岩田

TEL:0848-47-1155(内線119)



尾道市立市民病院科別診察割票

2014/10/1改正

区分	科別	月	火	水	木	金	備考	
午前	内科	1 診	山脇 泰秀 内科全般	山脇 泰秀 内科全般	金尾 浩一郎 内科全般	山脇 泰秀 内科全般	宮田 明 内科全般	
		2 診		水戸川 剛秀 内科全般	開原 正展 腎・高血圧	水戸川 剛秀 内科全般	橋本 崇智 内科全般	
		3 診	城戸 雄一 内科全般・糖尿病	開原 正展 腎・高血圧	松下 裕一 内科全般・糖尿病	金尾 浩一郎 内科全般	松下 裕一 内科全般・糖尿病	
		4 診				城戸 雄一 内科全般・糖尿病		
		5 診	藤野 寿幸 内分泌・代謝				山脇 泰秀 パーキンソン病	
	総合診療科	1 診	片山 晶博	宮田 明	橋本 崇智	橋本 崇智	寺坂 友博	
		2 診			巻幡 清			
		3 診			住谷 順子 内科全般・内分泌			
	呼吸器内科	1 診	村上 斗司	村上 斗司	検査	村上 斗司	村上 斗司	火曜日午後診療あり
	消化器内科	1 診	河合/宮部 ※1	平岡佐規子	河合 良成	河合 良成	宮部 敏生	※1 河合(奇数週)宮部(偶数週)
		2 診		宮部 敏生 ※2				※2 内科5診で診療
	循環器内科	1 診	岩崎 淳	團光 賢希	高村 俊行	高村 俊行	小林 博夫	
	神経内科	2 診	小林 博夫					
		診 療		岡本 美由紀			遠見 祥司	予約制
	外科	1 診	中井 肇 肝・胆・膵・消化器	宇田 征史 消化器・縫紪下	宇田 征史	中井 肇 肝・胆・膵・消化器	村田 年弘 外科全般	
		2 診	松本 朝子 外科全般	上塚 大一 消化器・ヘルニア	上塚 大一 肛門科	川真田 修 呼吸器	川真田 修 乳腺・食道	
	血管外科	1 診		越智 吉樹		越智 吉樹		
	乳腺外科	1 診					下妻 晃二郎 (乳腺外来)	9:00~12:00(予約制)
	整形外科	1 診	廣岡 孝彦 (予約)	藤井 淳一 迫間 巧将	廣岡 孝彦 (予約)	藤井 淳一 木曾 洋平	廣岡 孝彦 (予約)	※3 木曾(第1・3水曜日) 岡田(第2・4水曜日)
		2 診		岡田 卓巳		田中 千晴	迫間 巧将	
3 診		藤井 淳一						
4 診		田中 千晴				岡田/藤井 ※4	※4 岡田(第1・3金曜日) 藤井(第2・4金曜日)	
5 診						装具		
形成外科	1 診	高田 温行	高田 温行	高田 温行	高田 温行	高田 温行		
小児科	1 診	井上 直樹	井上 直樹	井上 直樹 ※5	井上 直樹	井上 直樹	※5 第3水曜日休診	
脳神経外科	1 診	土本 正治	大同 茂	岩戸 英仁	土本 正治	大同 茂		
	2 診					岩戸 英仁		
産婦人科	新産再来 妊婦健診	大村 裕一	大道 千晶 大村 裕一 ※6	大村 裕一	大村 裕一	大村 裕一	※6 9:30より	
皮膚科	1 診	樫野 かおり	樫野 かおり	樫野 かおり	樫野 かおり	樫野 かおり		
泌尿器科	1 診	大枝 忠史	堀川 雄平	堀川/別宮	大枝 忠史	堀川 雄平		
	2 診	別宮 謙介	大枝 忠史	堀川/別宮	大枝 忠史	堀川 雄平		
耳鼻いんこう科	診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	診療あり	広島大学病院から 火曜日午前休診	
眼科	診 療	諫見 久恵	諫見 久恵	諫見 久恵	諫見 久恵	諫見 久恵		
	手術							
放射線科	画像診断	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文	三船 啓文		
	治療	正岡 佳久	正岡 佳久 片山 敬久(予約)	正岡 佳久	正岡 佳久	正岡 佳久		
歯科・歯科口腔外科		吉田 明弘	吉田 明弘	手術	吉田 明弘	吉田 明弘		
午後	内科	検診	検診	検診	検診	検診		
		禁煙外来(喫煙/備付)		フットケア外来 ※7			※7 第2・4水曜日	
	消化器内科	検査	検査	検査	検査	検査		
	循環器内科		ベトナムカー外来		肝臓専門外来 (中井/河合良成)			
	循環器内科検査	心カテ	経食道エコー	心カテ	経食道エコー	心カテ	第1・2火曜日 14:00より 13:00~17:00	
	血管診療センター		検査・診療		検査			
	外科	手術	手術	手術	手術	手術		
		ストーマ外来(薄井)					第2・4月曜日	
	血管外科	手術	手術	手術	手術	手術		
	乳腺外科	乳腺外来 (松岡/本後) ※8					※8 松岡(第2・4月曜日) 本後(第1・3・5月曜日)	
	整形外科	手術	手術	手術	手術	手術		
	形成外科				手術	手術		
	小児科	検査	乳児健診 栄養指導	小児科専門外来 (塚原) ※9	神経外来(林) ※10	循環器外来(脇) ※11		※9 第2・4(14:00~16:30) ※10 第1木曜日 ※11 第4金曜日(偶数月)
		予防接種						
	脳神経外科	検査	手術	検査	手術	検査		
	産婦人科	頭痛外来(土本)		脳ドック外来(土本)				14:00より
			母乳外来 1ヶ月検診	母乳外来 (第2・3・4週)	母乳外来 1週間検診	1週間検診		
	皮膚科	検査	手術	手術	検査	検査		
	泌尿器科	手術	手術	手術	手術	検査・予約外来		
	耳鼻いんこう科		睡眠時無呼吸外来(佐々木)					
眼科	検査	黄斑外来(諫見) ※12	検査	検査	検査	※12 14:30より(予約制)		
	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断	画像診断	予約制		
放射線科		血管造影	血管造影	血管造影	血管造影			
		治療(藤井)		治療(藤井)				
歯科・歯科口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	口腔外科	手術	予約制		
専門外来	禁煙外来		ベトナムカー外来 (第1・2週)	脳ドック外来 フットケア外来 (第2・4週)	肝臓専門外来 小児神経外来 (第1週)	小児循環器外来 (偶数月/第4週) 乳腺外来	予約制	
	ストーマ外来							
	睡眠時無呼吸外来		黄斑外来	小児科専門外来				
	乳腺外来							

科別診療割票

診療受付時間 午前8時30分から午前11時まで
休診日 土曜日・日曜日・祝日・12月29日から翌年1月3日

地域連携室 代表番号 0848-47-1170 (代)

病院案内図

